平成２８年度　常盤小学校外部評価報告書

評価委員：海老原裕委員、田中二郎委員長、中田幸治委員、邉田紫乃委員、佐藤るみ子委員
報告書作成者：中田幸治委員

評価時期　　平成２９年２月

1　重点目標の評価

重点目標１「確かな学力の向上」について

○昨年度と同じように各教科とも国及び都の学力調査の平均値を大幅に上回っている。特に算数では個に対応した指導の工夫がされており、教職員がコミュニケーションをとり子どもたちのために授業をづくりを行っている様子がうかがえる。

重点目標２　「国際的な小学校に向けての土台づくり」について

○今年度より、文部科学省から英語科・国際科の教育課程特例校に指定され、昨年度からの中央区国際教育パイロット校としての役割をさらに確たるものにし、カリキュラムを確立していている。学芸会やスピーチコンテストで成果が見られ、今後にも期待する。

○国際科や生活科の伝統文化の学習はとても大事である。地域の資源を有効に活用し学習を続けてほしい。

重点目標３　「豊かな心と体づくり」について

○縦割り班清掃、縦割り班遊び等の異学年交流等の活動を通して、子どもたちは思いやりの心や上級生へのあこがれの気持ちを醸成していることが見受けられる。2 学級編成になっても続けてほしい。

○体力面では、課題となっている項目が昨年と同じである。なぜ課題になっているか原因を分析し、体育の授業だけでなく、学校教育全体として体力を上げる工夫を行っていくとよい。

2　今後の改善に向けた意見

○「児童の悩みへの相談や指導」の項目については、昨年度比べて改善されているものの、まだ、1 割の保護者が不十分であると評価している。保護者の要求も高まっている中、児童一人一人に寄り添った対応、教師と児童の温かい人間関係を育み教育活動に邁進してほしい。

○「特別の教科　道徳（道徳科)」が平成 30 年度から実施されることを踏まえて、道徳科の指導力の向上に努めることを期待する。

3　その他の意見

○学校便りや「常盤英語ニュース」等で国際教育について内容を知ることができる。ゆうゆう日本橋やスピーチコンテストにおいて成果を存分に見させてもらった。こういった取組が児童数増加につながると考える。